

## \*ソーシャルワーク演習(通山)

授業科目	*ソーシャルワーク演習(通山)					実務家教員担当科目	-				
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	通山 久仁子										
授業概要	<p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を理解したうえで、①ソーシャルワーカーとして求められる基礎的な能力、②ソーシャルワークの価値規範と倫理、③ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術について、実践的に学びます。本演習では、福祉分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえ、個別指導や集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を行います。</p>										
授業形態	演習	授業方法	ロールプレイ、グループワーク、プレゼンテーション								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>自己覚知について、実践的に理解できる。</li> <li>基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解できる。</li> <li>基本的な面接技術について、実践的に理解できる。</li> <li>ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解できる。</li> <li>ソーシャルワークの記録について、実践的に理解できる。</li> <li>グループダイナミクスの活用について、実践的に理解できる。</li> <li>プレゼンテーション技術について、実践的に理解できる。</li> </ol>										
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>自己覚知について、実践的に理解し、習得できる。</li> <li>基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>基本的な面接技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>ソーシャルワークの記録について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>グループダイナミクスの活用について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> <li>プレゼンテーション技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。</li> </ol>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)					備考					
試験											
小テスト											
レポート	30%										
発表(口頭、プレゼンテーション)	20%										
レポート外の提出物											
その他	50%										
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21226J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
各回のふり返り、関連する内容の調べ学習										1	

授業計画	
第1回	オリエンテーション 本演習のねらい、内容、演習の方法、進め方について説明する。ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性について解説する。
第2回	グループダイナミクスの活用 グループワークの構成（グループリーダー・コリーダー・グループメンバー）、グループワークの展開過程（準備期・開始期・作業期・終結期）について、実践的に学ぶ。
第3回	ソーシャルワークの価値と視点 ソーシャルワーカーに求められる倫理について、実践的に学ぶ。
第4回	自己覚知 自己覚知とその意義について理解し、自己理解の方法について、実践的に学ぶ。
第5回	自己覚知 自己理解と他者理解の方法について、実践的に学ぶ。
第6回	基本的なコミュニケーション技術 非言語的コミュニケーション（表情、態度、身振り、位置取り等）について、実践的に学ぶ。
第7回	基本的なコミュニケーション技術 言語的コミュニケーション（質問、促し等）について、実践的に学ぶ。
第8回	基本的な面接技術 面接の構造化、場の設定（面接室、生活場面、自宅等）、ツールの活用（電話、e-mail等）について、実践的に学ぶ。
第9回	基本的な面接技術 基本的な応答技法（言い換え、感情の反射等）について、実践的に学ぶ。
第10回	基本的な面接技術 基本的な応答技法（繰り返し、要約等）について、実践的に学ぶ。
第11回	ソーシャルワークの展開過程 ソーシャルワークの展開過程の全体像とワーカーの役割について、実践的に学ぶ。
第12回	ソーシャルワークの展開過程 ケースの発見、インテークについて、実践的に学ぶ。
第13回	ソーシャルワークの展開過程・ソーシャルワークの記録 アセスメントについて実践的に学ぶ。記録の意義、様式、方法について理解し、マッピングツールを用いた記録の作成について、実践的に学ぶ。
第14回	ソーシャルワークの展開過程・プレゼンテーション技術 プランニング、支援の実施、モニタリングについて、実践的に学ぶ。個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーションの方法について、実践的に学ぶ。
第15回	ソーシャルワークの展開過程 支援の終結と事後評価、アフターケアについて実践的に学ぶ。
テキスト	担当教員がレジュメを配布し、参考図書等は適宜紹介します。
参考図書・教材	担当教員が演習の中で適宜紹介します。必要に応じて視聴覚教材を用います。

<p>／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	
<p>課題に対 するフィ ードバッ クの方法</p>	<p>フィードバックの方法の詳細は、各教員が授業内で提示します。</p>
<p>学生への メッセー ジ・コメ ント</p>	<p>「福祉入門」や「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ福祉や援助技術に関する基本的な知識、「ヒューマンサービス基礎演習」で学んだコミュニケーション技術を、本演習で活用できるようにしてください。</p> <p>社会福祉の学びは、理論と実践の両輪が必要です。演習で学んだ内容を、ボランティア活動や「基礎実習」などの実践の場で活用してみてください。そして身につけた知識や技術を、「ソーシャルワーク実習」で活用できるようにしてください。</p>